

西三荘ゆとりの道から花博記念公園へ

(第59回くらわん会 2001/05/01)

西三荘駅の横を流れる川が地下に潜り、その上に「西三荘ゆとりの道」が造られている。

一部には人口の川がポンプアップで流れ、周囲には花が植えられ歩道が整備されて、休憩所やトイレが設置され格好の散歩道になっている。この道の突き当たりが記念公園北ゲートになっている。

北ゲートから東北ゲートに向かって歩くと「ふるさとの森」が緑濃く繁っている。鶴見のゴミの山が17年前に新山になり、1990年に花博が開催された。オランダから設計図を取り寄せて作った大風車がある丘を越え、西側の日本庭園を取り抜けると、国際庭園が今でもその面影を残している。

鶴見新山の山頂（一寸大げさだが）からは、守口・京橋方面の街並みが展望できた。自転車の通行も規制している、花の谷では花栈敷で満開の草花が迎えてくれた。

会場には至る所に花壇があり、せせらぎが流れている。中央ゲートから入口までのメイン通路にはメタセコイヤが大木に成長し、博覧会場から、市民の憩いの場所に変身した鶴見緑地の歴史を思わせる。

今日は生憎、連休の谷間の休館日で「さくやこの花館」にも「いのちの塔」にも入れなかった。中央口からバスで京阪守口駅へ出た。

富田朝己記

川を地下に埋めて造った西三荘ゆとりの道は良く整備されて、人工の川が流れている



ゆとりの道の突き当たりには釣り堀があり、記念公園の北ゲートになった



北東ゲート近くにあるふるさとの森は木がよく繁って森らしく、空気が美味しい



鶴見新山の山頂（一寸大げさだが）からは、守口・京橋方面の街並みが展望できた





花床敷には、鮮やかな色とりどりのお花畑が広がる



中央ゲート横にある全長八百五十米の緑のせせらぎは湧き出る泉に続く滝から流れ出したもの



花に飾られた中央ゲート近くの大池の端で昼食を摂った



花の谷を抜けると公園のメイン「さくやこの花館」があったが振り替え休館日だった

東ゲート近くから風車の丘にたどり着く、オランダから設計図を取り寄せ造った大風車があった



小道を進んで開けたところに一面のお花畑が待っていた。まさに花床敷

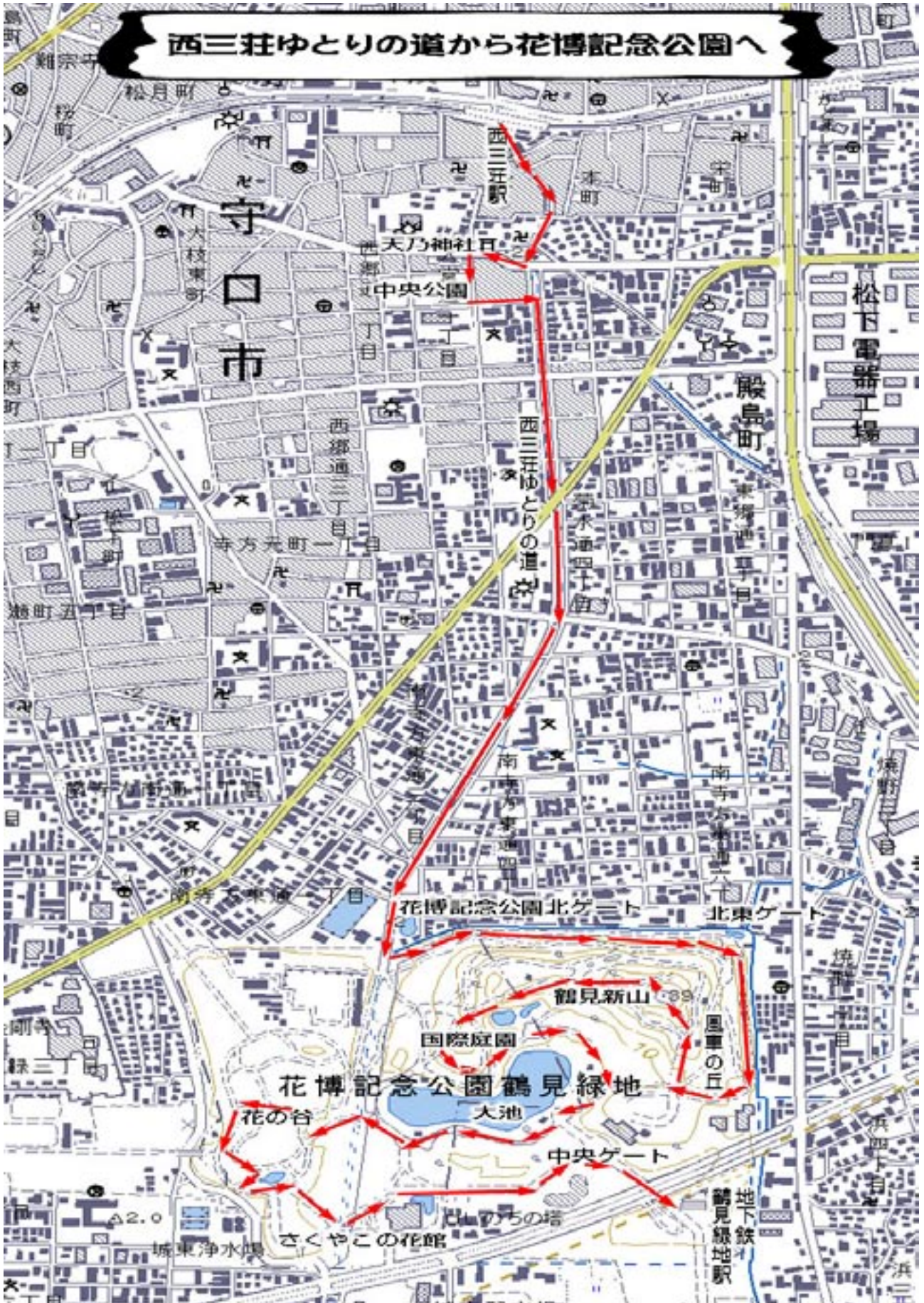


ひとときわ広い韓国庭園には鮮やかな彩色の建物と真っ白な石像が有り子ども達が写生していた



中央口からのメイン道路はメタセコイヤの大木に囲まれた花の歩道になっている

西三荘ゆとりの道から花博記念公園へ



<行程>

京阪西三荘駅⇒天乃神社⇒西三荘ゆとりの道⇒花博記念公園北ゲート⇒北東ゲート⇒風車の丘⇒鶴見新山⇒国際庭園⇒大池⇒中央ゲート⇒花の谷⇒さくやこの花館⇒中央口
7km 2001年5月1日 124名参加